

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先の方々が訪問支援員からの助言や説明が具体的に 取り入れやすいものだと感じている事	基本的には、訪問先にある教材や道具等々でできることを 提案するように心掛けております。 また、特性に対する必要な配慮をしつつも支援対象のお 子様も園や学校で過ごす集団の中の一人であるという立 場を意識し、他のお子様や集団活動に馴染む支援策を提 案するよう工夫しております。	担任の先生や加配の先生との関係を深める事や好きな 教材を活用する事等を手掛かりにしながら、園や学校 という刺激の多い環境の中でお様がより安心して過 ごせるよう支援していきたいと思ひます。
2	お様が訪問支援を楽しみにしている事	訪問の目的によって直接支援、間接支援どちらが適切か 検討しております。また、支援対象のお子様の思い、保 護者様の希望、訪問先施設の先生たちの希望を整理し目 標を提案する事で、支援の方向性を共有できるよう努め ております。	担任の先生をはじめ、コーディネーターの先生、加配 の先生、支援員の先生等、支援対象のお子様に関わっ ている方々からお話を伺わせていただく事で、支援の 方向性や役割の整理につなげていきたいと思ひます。
3	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福 祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制 を整えている事	保育所等訪問支援の場のみでは解決しきれない事柄につ いて、各関係機関と連携をとりそれぞれの役割を確認し ながら支援を行っています。	お子様が困っている事、訪問先の先生が困っている 事、家族が困っている事が一致していない場合も多くあ りますので、それぞれを明確にし解決や支援の手立て を提案していきたいと思ひます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先にとって課題や困りごとの解消・軽減がすぐに感 じられないケースがあった事	課題、困り事に対する評価の不十分さが要因の一つであ ると考えます。	当事業所での行動分析に加え、家庭や他事業所への訪 問・見学を実施し、様々な視点から評価を深め、支援 につなげていきたいと思ひます。 気軽に相談・連絡がしやすいように、保護者様や訪問 先との関係をより深めていきたいと思ひます。
2	保育所等訪問支援制度について訪問先への説明が不十分 なケースがあった事	訪問先では、担任の先生を中心に関わらせていただく事 が多く、保育所等訪問支援の制度について全ての先生に 対して同じ様に丁寧な説明を行えない場合があったと考 えます。	今後は、必要に合わせてコーディネーターの先生や窓 口になる先生たちにも保育所等訪問支援制度について 丁寧に説明していきたいと思ひます。相談支援事業所 や他事業所とも連携し、書面や画像を用いる等しなが ら制度や支援内容についてよりわかりやすく説明でき るように準備したいと思ひます。
3	学校への行き渋り、不登校傾向が強まってきたお子様に 対しての支援体制が未熟である事	園や学校、ご家庭でお子様に寄り添った対応をしていて も、特性や環境等様々な要因によって、登校渋りが強く なる事がありました。	園や学校で安心して過ごせることを目標として支援を 行うことに加えて、自宅から園や学校に向かう時に必 要な支援について、それぞれのお子さんやご家庭の生 活の状況を踏まえつつ、検討していきたいと思ひま す。また、これまで通り、家庭訪問の回数を増やす等 必要に応じた柔軟な支援を継続していきます。